

しまし 議会だより

Shimashi
Gikai

第85号

2026. 2. 15



大みそかの夜に船頭役の大人と子どもが組になり、家々を訪ねて「祝い言葉」を贈る波切の伝統行事です。静かなまちに響く威勢のよい掛け合いは新年の訪れを告げる合図で、子どもたちはご褒美のお餅等をいただきます。

『名のり行事』 大王町波切



第4回定例会

令和7年度一般会計補正予算等を可決

【主な掲載内容】

・定例会での主な審議 ・一般質問 市政のここを聞く！ ・こんにちは志摩びとさん



令和7年度 一般会計補正予算を可決

可決された補正予算のうち、いくつかの内容を紹介します。

YouTube「志摩市議会」チャンネルでは議会の録画映像を視聴できます。

【URL】 <https://www.youtube.com/channel/UCCKomb70ND19H0Yg7ZZqLgW>



12月 第4回定例会

第4回定例会で可決

令和7年度 一般会計補正予算



補正額(第6号)	8億9093万6千円	→ふるさと応援寄附金返礼品購入費増額等のため
補正額(第7号)	3億7840万7千円	→国の経済対策による物価高騰対応事業に係る財源確保等のため
予算総額	296億2974万1千円	

問 シニア型地域活性化起業人制度では、人材の選定をどのような方法で行いますか。

答 三大都市圏の民間企業経験者のうち、専門的なネットワークを通じて市のニーズに合致する人材を候補者として選定します。

問 観光振興事業費 地域活性化起業人交流プログラム事業 51万4千円

東京圏・大阪圏・名古屋圏の三大都市圏に所在する民間企業等を退職したシニア層を、一定の期間受け入れ、外部からの視点・知識等を生かした観光誘客や地域課題の解決を図るものです。

補正第6号

観光専門家による地域活性化事業



企業の知見を地域の力に

問 具体的にどのような業務を行いますか。

答 国内外への観光誘客の企画立案・実行支援・地域産品の磨き上げや外部機関との連携支援、市職員のスキル向上のための指導・助言を担い、これらの業務を中心とした取り組みを通じて、観光振興や地域活性化につなげていきたいと考えます。

会期

12/1
～
12/23

議案

25件

補正第7号

利用増への対応と安全確保

問 申し込みが定員を超過した要因を問います。

答 共働き家庭の増加など、保護者の就労状況の変化により、放課後児童クラブの利用ニーズが高まっているためです。

問 これまでの定員超過にはどのように対応してきましたか。

答 定員を上回る申し込みがあった場合は、体育館を

問 放課後児童クラブ事業費 東海放課後児童クラブ改修事業 267万6千円

東海放課後児童クラブの利用児童が増加したことに伴い、児童クラブのスペースを定員40人から75人に、拡張・整備するものです。

その他

16件



多くの子どもが使えるように

借りるなどして活動場所を確保し、対応してきました。

問 改修による安全面への影響はありませんか。

答 改修は廊下部分の壁を撤去し、活動スペースを拡張するもので、耐震性や防火区画に影響がないことを確認したうえで実施します。

一般質問

11人

常任委員会の審査から

委員会に付託された案件を審査しました。
「こ」では主な質疑を掲載します。

総務産業常任委員会 主な質疑

議案第82号 債権の放棄

(住宅新築資金等貸付債権)

住宅新築資金等の貸し付けを受けていた者が死亡したことに伴い、納付が見込めないと判断された債権の放棄について、議会の議決を求めるものです。

住宅資金債権の放棄と今後の管理

問 債権放棄の理由と、跡地の管理を問います。

答 債務者と連帯保証人1人は相続人を含め

全員が死亡または相続放棄しており、債権回収は不可能な状況です。

また、残された物件は現在、相続財産法人となっており、取得希望者が現れなければ最

最終的に国庫へ帰属することになります。

教育厚生常任委員会 主な質疑

議案第72号 乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

児童福祉法が改正され、保護者の就労要件を問わず、保育所等に

通っていない生後6か月から満3歳未満の子

どもを、月一定の時間まで保育所等で受け入

れる乳児等通園支援事業、いわゆる「こども

誰でも通園制度」が創設されました。

本市においても、同

支援事業を実施するにあたり、設備および運営に関する基本的な基

準を定めるものです。

だれでも通園で孤立しない育児へ

問 受け入れ乳児等の利用見込みは何人ですか。

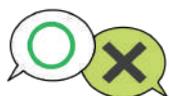
答 国から示されている整備量の基準に基づき、利用見込みは0歳児4人、1歳児4人、2歳児1人の計9人を想定しています。

問 利用料金を伺います。

答 国の基準と同様の1時間当たり300円を想定しています。



ひろがる、育児の輪



議案の審議結果一覧



●全会一致で可決した議案等

※紙面の都合上、議案名が省略される場合があります。

区分	議案名
条例	改正
	議案第74号 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例及び放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
	議案第75号 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
	議案第76号 布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部改正
	議案第77号 水道事業給水条例の一部改正
	議案第78号 下水道条例の一部改正
	議案第79号 改良住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正
	議案第80号 火災予防条例の一部改正
	議案第81号 過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正
	議案第105号 職員の給与に関する条例等の一部改正
予算	補正予算
	議案第65号 令和7年度一般会計補正予算(第6号)
	議案第66号 令和7年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
	議案第67号 令和7年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
	議案第68号 令和7年度介護保険特別会計補正予算(第2号)
	議案第69号 令和7年度水道事業会計補正予算(第3号)
	議案第70号 令和7年度下水道事業会計補正予算(第1号)
	議案第71号 令和7年度国民健康保険病院事業会計補正予算(第2号)
議案第98号 令和7年度一般会計補正予算(第7号)	

●全会一致で可決した議案等

※紙面の都合上、議案名が省略される場合があります。

区分	議案名
予算	議案第99号 令和7年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
	議案第100号 令和7年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)
	議案第101号 令和7年度介護保険特別会計補正予算(第3号)
	議案第102号 令和7年度水道事業会計補正予算(第4号)
	議案第103号 令和7年度下水道事業会計補正予算(第2号)
	議案第104号 令和7年度国民健康保険病院事業会計補正予算(第3号)
その他	議案第82号 債権の放棄(住宅新築資金等貸付債権)
	議案第83号 指定管理者の指定(浜島コミュニティセンター誠心館)
	議案第84号 指定管理者の指定(浜島コミュニティセンター養心館)
	議案第85号 指定管理者の指定(迫子地区公民館)
	議案第86号 指定管理者の指定(南張生涯学習センター)
	議案第87号 指定管理者の指定(布施田コミュニティセンター)
	議案第88号 指定管理者の指定(山田コミュニティセンター)
	議案第89号 指定管理者の指定(川辺コミュニティセンター)
	議案第90号 指定管理者の指定(浜島地域福祉センター「さくら苑」)
	議案第91号 指定管理者の指定(大王地域福祉センター「ゆうゆう苑」)
	議案第92号 指定管理者の指定(阿児地域福祉センター)
	議案第93号 指定管理者の指定(磯部地域福祉センター)
	議案第94号 指定管理者の指定(おりきの松公園多目的集会施設)
	議案第95号 指定管理者の指定(浜島B&G海洋センター・浜島ふるさと公園)
議案第96号 指定管理者の指定(磯部ふれあい公園・磯部プール)	
議案第97号 鳥羽志勢広域連合規約の一部変更に関する協議	

●賛否が分かれた議案と審議結果

(付託委員会) 教…教育厚生常任委員会

※濱口卓議長は表決に加わりません。【○:賛成 ×:反対】

区分	議案名	委員会付託	西井秀太	濱村昭雄	中野浩一	山川楠人	堀江しおん	濱野由人	松井研二	森光子	山本桂史	下村卓也	井上幹夫	前田俊基	渡辺友里夏	山下弘	小河光昭	賛成	反対	結果	
条例	議案第72号 乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定	教	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1	可決
	議案第73号 特定乳児等通園支援事業運営に関する基準を定める条例の制定	教	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1	可決

反対

森 光子 議員

こども誰でも通園制度の理念には賛成ですが、条例22条の地域限定保育士は、保育実技講習27時間以上を受講して、実技試験が免除となる保育士資格取得のハードルを下げるものです。保育の質を上げ、専門職に見合う処遇改善こそが必要です。

反対

森 光子 議員

こども誰でも通園制度の理念には賛同ですが、在園児の生活安定への懸念や保育現場の事務的負担も増えます。子どもの発達応援ならば、余裕活用型ではなく、専用保育室を確保し、経験豊かな職員による受け入れを整えるべきです。

本会議での
討論



議案第72号 乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

議案第73号 特定乳児等通園支援事業運営に関する基準を定める条例の制定





一般質問 市政のここを聞く！



11人の議員が熱弁

一般質問とは、議員が議案とは関係なく市政全般について、市長の考えや意見を求め、事情をただし、議員や市民の意見等を述べることをいい、定例会でのみ行われます。

一般質問一覧

議員名	質問事項
中野 浩一	<ul style="list-style-type: none"> 津波避難時の課題と児童・生徒の安全確保に向けた今後の備えについて 地域交通の確保と継続について 地域福祉の担い手について 税収の公平性・適正化について
松井 研二	<ul style="list-style-type: none"> 大型イベントの成果と、記念周年事業を通じた志摩市の魅力向上策について 志摩市の防災・減災対策の高度化について
下村 卓也	<ul style="list-style-type: none"> 志摩市議会議員選挙について ふるさと応援寄附金について 国府公民館について 磯部町自治会所有のコミュニティ施設について
小河 光昭	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少対策について
堀江しおん	<ul style="list-style-type: none"> 万博の影響による観光需要の変動分析と、式年遷宮を見据えた観光戦略について 選挙における投票率低下の要因分析と、投票環境改善について
濱村 昭雄	<ul style="list-style-type: none"> 市内の空き校舎の活用計画について 防災、減災対策について
山本 桂史	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者等の買物支援について
前田 俊基	<ul style="list-style-type: none"> 市内公的施設の高台移転を考える 阿児交番の機能拡充について 農業振興の今後について 安乗岬園地の枯松の処理について
井上 幹夫	<ul style="list-style-type: none"> 選挙の投票率向上について 人的被害を出さないための獣害対策について
渡辺友里夏	<ul style="list-style-type: none"> 志摩市立図書館が本屋を応援するということについて ライフジャケット配布による防災力の向上について 東海小学校スクールバスの立神地域導入について テニスコート学割について れんげ草を活用した環境美化と地域活性化について
森 光子	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の補聴器購入補助に向けて 待機児童について 五知交差点問題について

お手持ちのスマートフォン等で二次元コードを読み取ると、各議員の質問をYouTube動画で視聴できます。

また、YouTube「志摩市議会」チャンネルからも視聴できます。

【URL】 <https://www.youtube.com/channel/UCCKomb7OND19H0Yg7ZZqLgw>



こちらから





なかの こういち
中野 浩一
議員

避難所の熱中症 対策と交通確保



YouTube

避難場所での健康管理

問 令和7年7月のカムチヤツ力半島沖地震に伴う津波警報で避難の際、志摩小・中学校では屋根や壁のない避難場所での待機となりました。炎天下や悪天候下での熱中症等、児童・生徒への具体的な健康被害防止の対応策を問います。

答 市長 避難場所の環境整備や熱中症対策は重要な課題であり、安全安心な避難経路や場所の確保が必要と認識しています。

近年の異常気象を踏まえ、特に熱中症対策は急務であるため、避難場所での日陰の確保等、具体的な暑さ対策が必要です。また、児童・生徒が安全に避難できる環境整備と行動力の育成、避難場所での保護者への円滑な引き渡しなどの定期的な

訓練も重要と考えています。

地域間交通の確保継続

問 高齢者の生活に欠かせない移動手段である、公共交通を持続可能なものにし、利用しやすくするための将来的な見通しを問います。

答 政策推進部長 長期的にみて少子高齢化により利用者数は減少していますが、必要とする方は一定数います。



デマンド交通「のりあい」

す。地域の共通課題は深刻なドライバー不足と認識しており、事業者との連携強化によるドライバー確保を進める必要があります。

問 福祉との連携についてどう考えていますか。

答 政策推進部長 公共交通には高齢者等の外出を促す役割もあるため、福祉関係者等とも連携を深めながら、事業の継続を目指します。



まつい けんじ
松井 研二
議員

成功と安心を築く 新戦略で活性化



YouTube

助けを届ける仕組みを

問 災害関連死を防ぐための「被災者個別カルテ」※と専門家チームによる生活再建支援に関する市の見解を問います。

答 福祉事務所長 災害関連死防止と生活再建支援のため、「地域ささえあい名簿」※等が個別カルテの基礎となり、県研究会で指針策定中の災害ケースマネジメントに基づき、市の体制を整備していくことを考えています。

※被災者個別カルテ…被災者一人ひとりの困りごとや支援状況をまとめ、寄り添った支援を行うための記録のこと。
※地域ささえあい名簿…災害時や日ごろの生活で助けが必要な人を把握し、地域で安否確認や支援を行うための名簿のこと。

問 第44回全国豊かな海づくり大会を通じて改めて認識された課題や、今後、豊かな海を次世代に引き継ぐための具体的な施策等、市の考えを問います。

答 水産農林部長 黒潮大蛇行や高水温化によるアワビ・イセエビ等の漁獲量減少と磯焼けに対し、環境変化に強いサザエの種苗放流や藻場再生を加速し、磯焼けの原因魚利活用・アオサノリ経営支援・担い手育成を進め、志摩の豊かな海を次世代に引き継いでいけるよう取り組みます。

大王埼灯台の未来戦略

問 参観灯台の枠を超えたプロモーションや、受け入れ体制の整備に関する具体的な構想を問います。

答 観光経済部長 現在、受け入れ体制については、灯台へ続く商店街の活性化を通じて、来訪者が快適に散策できる環境整備を図ります。



灯台が見つめる
大王埼の新たな挑戦



しもむら たくや
下村 卓也 議員

コミュニケーション施設の 取り扱い



YouTube

国府地区公民館の今後

問 利用を停止した国府地区公民館の除却と建て替え計画はありますか。

答 市民生活部長 旧国府公民館の除却計画は、市全体の除却優先順位等、関係部局と協議が必要であると認識しており、現状、旧国府幼稚園を使用しているため、建て替えは計画していません。



利用制限のある国府地区公民館

問 旧国府幼稚園をコミュニケーション施設として利用する

ために利用制限を解除し、施設改修を速やかに行う考えはありますか。

答 市民生活部長 地域の皆さんのコミュニケーションの場として有効に活用できるように、順次、必要な手続きを行っていきたくと考えています。それに伴い、必要となる空調等の設備、改修につきましても、国府自治会の皆さんと協議、調整をしていきます。

問 令和8年度予算で改修工事を行い、令和9年度当初から全館使用できる状態にすべきだと考えます。見解を問います。

答 市民生活部長 国府自治会の皆さんと使用目的や使用頻度等を含め協議を行い、地域の皆さんのコミュニケーションの場として有効に活用できるよう、必要な手続き等、空調の設備等も進め

ていきたいと考えています。

磯部町との進捗状況は

問 磯部町関係自治会との協議の進捗状況はどうなっていますか。

答 政策推進部長 令和7年11月に、私と磯部支所長および担当職員で16地区の施設に赴き、自治会長等から聴き取りを行いました。その結果、自治会によって様々な意見があり、今後は、この結果も踏まえて、16自治会および磯部町自治会連合会の皆さんとともに、施設のあり方について、引き続き、検討を進めていきたいと考えています。



おがわ てるあき
小河 光昭 議員

令和8年秋、中学部活動地域展開



YouTube

大王中に総合部設置を

問 中学校部活動は、令和8年の秋に休日の活動をなくし地域展開する方向で間違いありませんか。

答 教育長 令和8年、秋を目指して地域展開を進め、休日に関心のある種目ができる環境をつくりたいと考えています。

問 地域展開による休日の活動は、学校の部活動と考

えてもよいですか。

答 教育部長 地域展開における休日の活動は、学校部活動ではなく地域のクラブ活動として考えています。

問 学校部活動は強制加入ですか。任意加入ですか。

答 教育長 加入は任意です。部活動のあり方等については、各学校できちんと話をしてもらいたいと思っています。

問 大王中学校の部活動は、卓球・女子バレー・野球で選択肢が限られます。令和8年4月から試験的に大王中学校に総合部の設置はできませんか。

答 教育長 総合部については、ぜひ実現したい思いで学校と話しています。トップダウンではなく、中学校の整備も必要です。約束はできませんが、令和8年の春からそういう体制ができればと思います、学校と協議しています。

問 総合部は、学校の部活動という認識でよいですか。

答 教育長 その通りです。一つの部活動として顧問もつきませんが、技術指導ではなく安全管理の見守りという形ができればと思っています。



好きな部活動ができる環境を

問 地域から学校へ行き、生徒たちを見ることで先生の負担も軽減できますが、外部指導員は可能ですか。

答 教育長 外部指導員は可能ですし、地域展開の流れの中で一つのポイントだと思っています。人材の確保とともに、予算の確保も必要ですが、進めていきたい取り組みです。



ほりえ しおん 議員

過去最低の投票率 どう対策する



YouTube

問 令和7年の市議選の投票率は約54%で過去最低となり、20代で約30%、30代で約41%でした。若年層への周知広報の課題をどう捉えていますか。

答 選挙管理委員会書記長 若年層はSNSや動画を主な情報源とし、従来の選挙公報やポスターでは発信力が弱いと考えています。市ホームページや公式LINEで情報発信を行っていますが、若年層への効果は十分ではありません。

今後、より効果的な手法を調査するとともに、学校での主権者教育も継続します。

問 若いころから投票に慣れていない人は、年齢を重ねても投票に行きにくい傾向があります。世代間で投票文化に差が生じている点をどう考えますか。

答 選挙管理委員会書記長 高齢層は政治と生活が密接だった経験から投票意識が高い一方、若年層には「投票しても変わらない」という意識が広がっている

と推察します。若い時期から投票習慣を根付かせ、年齢を重ねても行うことが重要です。

問 今後、投票所運営の担い手不足が進むと考えられますが、どのように対応しますか。

答 選挙管理委員会書記長 人口減少や高齢化から、担い手不足は地方ほど顕著です。令和元年の法改正により選任要件が緩和されており、今後は立会人の交代制度等の調査研究を進めます。

また、移動期日前投票所の活用も有効と考え、自治会の意見も踏まえて投票機会の確保に努めます。



投票しやすい環境づくりを

問 教育現場の取り組み方針を問います。

答 教育長 教育の役割は将来に種を蒔くことだと思います。主権者教育として、地域社会や地域に貢献できる人材を育てる取り組みを進めています。



はまむら あきお 議員

空き校舎地域資源 として活用を



YouTube

問 少子化等から多くの学校の統廃合が進み、複数の空き校舎が発生しています。跡地利用計画の見込みのな

い施設等は、解体撤去が行われていますが、校舎は地域住民の記憶や歴史が詰まった大切な地域資源です。市内の空き校舎の取り扱いに関する考えを問います。

答 市長 少子化と過疎化が進む現代において、廃校となった校舎は単なる不要な建物ではなく、地域固有の可能性を秘めた遊休資産として捉え直されています。地域の意見を聞きながら、民間活力を最大限に導入し、地域の活性化と財政負担の軽減につながる、持続可能でユニークな活用を実現していきたいと考えています。

答 政策推進部長 空き校舎の利活用の適否については「用途廃止施設の除却及



可能性を秘めた空き校舎

び利活用の適否に関する基準」を策定しており、この基準に基づき、総合的に考慮して判定することを基本方針としています。

問 民間企業との連携で大きな価値が生まれると考えますが、サウンディング型市場調査※や公募等は検討していますか。

答 政策推進部長 サウンディング型市場調査を実施することは、有効な手法の一つであると考えます。その有効性・需要等を把握し

ていきたいと考えています。

実施に向けた検討を行うことが必要であると考えるいます。

避難タワーを身近に

問 避難タワーの施設解放による、日常利用化を問います。

答 危機管理統括監 日ごろより慣れ親しんでもらう必要性を強く感じています。施設管理から日常利用可能な開放型に転換することは、すでに具体的な取り組みを進めています。今後は観光活用も含め、平常時から活用されるよう検討していきます。

※サウンディング型市場調査：公共施設等活用検討時に、民間事業者と対話し、事業の可能性等を把握する手法のこと。



やまもと けいし
山本 桂史 議員

はまじま号の運行

問 実証運行前に浜島町内で説明会を開催しましたが、各地区参加人数を問います。

答 政策推進部長 浜島地区19人、南張地区10人、松山路地区10人、塩屋地区9人、迫子地区13人、大崎地区7人、延べ68人です。

問 直近までの乗車実績を問います。

答 政策推進部長 松山路・塩屋・迫子・大崎地区を運行する「あおさルート」は、11月11日の運行開始から12月4日までの最大運行便数48便に対して、12便の予約に基づき運行し、運行稼働率25%です。利用者数は13人です。

南張・浜島地区を運行する「いそがえルート」は、最大運行便数42便に対して、13便の予約に基づき運行し、



予約運行型バス「はまじま号」

運行稼働率31%です。利用者数は14人です。

問 各地区での運行経費、予算等を問います。

答 政策推進部長 令和7年度当初予算で、コミュニティバス志島循環線は年間3641万8000円、予約運行型バス「ハッスル号」は、年間440万円、デマンド交通「のりあい」は、大王町と志摩町を合わせ、約4か月間の実証運行経費1285万3000円、予

高齢者の買物支援



YouTube

約運行型バス「はまじま号」は、約3か月間の実証経費589万8000円を計上し、阿児町のデマンド交通は、令和7年度の運行を行うていないため、令和6年度決算額で、約3か月間の運行2056万2000円です。

問 阿児町でのデマンド交通の状況を問います。

答 政策推進部長 令和6年度の実証結果をしっかりと検証し、令和7年度は、改めて様々な方向での検討をしています。その結果を踏まえて、令和8年度の取り組みに向け、検討、準備等を実施していきます。

問 鵜方放課後児童クラブの高台移転における1年間の協議結果を問います。

答 福祉事務所長 高台にある鵜方小学校の敷地内か校舎内への移転が最も望ましいですが、恒常的に利用できる余裕教室がなく、直ちに移転することは難しいため、学校施設の状況変化を注視し検討していきます。

問 今後も協議を続けていきますか。

答 福祉事務所長 現在の施設は築36年で老朽化しています。この点も含め、引き続き協議していきます。

治安維持体制の強化を

問 阿児交番の規模や人員は管内の人口や犯罪件数を考えると十分とは言えません。市は機能拡充を要望していますか。



まえだ としむと
前田 俊基 議員

安全基盤への投資と体制整備を



YouTube

問 危機管理統括監 機能拡充や人員確保等、以前から継続的に要望しています。

問 面積・人口・犯罪・事故、すべてにおいて本市の比率が圧倒的に高いです。

問 安乗岬園地の枯れ松は、景観を損ね、倒木の危険もあります。対応を問います。

答 観光経済部長 来訪者の安全と景観維持のため、緊急性の高いものから優先的に伐採を行います。

問 志摩の玄関口である鵜方駅に交番がありません。観光客の安全安心のためにも必要と考えますが見解を問います。

答 危機管理統括監 防犯体制の強化は課題と認識しています。海づくり大会に



枯れ松が目立つ安乗岬園地



井上 幹夫 市長

市民の生活を守る 獣害対策を



YouTube

問 有害獣の捕獲数は増加傾向ですが、要因を問います。

答 水産農林部長 主に、捕獲の強化を図った成果だと分析しています。

捕獲おりを毎年、計画的に増設し、捕獲エリアを広げ、動物の種類に応じた効率的な捕獲を可能にすることを目的としています。この対策が効果を発揮し、捕獲頭数は前年度を上回って推移していると考えています。

被害は身近なものに

問 住宅地内の被害等の農地以外の場所での被害状況を把握していますか。

答 水産農林部長 令和7年度、イノシシに関する被害届の提出は合計23件です。うち8件が、農地以外の場

所です。

問 市所有の捕獲おりは、毎年増設し、現在、イノシシおりが168基で、すべて貸し出ししています。今後、捕獲おりを増やす予定はありますか。

答 水産農林部長 今後、計画的に捕獲おりの整備を進め、地域被害の軽減に努めたいと考えています。

猟友会の協力が必須

問 猟友会の会員数を増やす施策を問います。

答 水産農林部長 現在、猟友会の会員数は若干の減少傾向にあり、今後も高齢化が進むと見込まれます。この状況に対して、新規会員の獲得を目的とした、「狩猟免許取得試験受験料補助金」という制度があります。これは、猟友会への

加入を必須条件としています。

これにより、単に狩猟免許の保有者を増やすだけではなく、狩猟者の確保と猟友会組織への加入者増加に有効な手段と考えています。

引き続き、この制度を安定的に継続し、広報活動を強化することで、新規参入を促し、将来的な鳥獣被害の対策の強化を目指したいと考えています。



捕獲おりに捕らえられたイノシシ



渡辺 友里夏 議員

本と出会えない 子どもの未来



YouTube

問 地域から本屋が減少している現状をどう考えていますか。

答 市長 近年、書店の減少により、市民が本に触れる場が失われつつあります。これは、デジタル化や消費動向の変化という、社会全体の構造的な要因が背景にあり、読書文化や、地域経済の衰退につながりかねない課題だと考えます。

問 都市部では、書店の「文化の場」として機能し、子どもや若者にとって、読書意欲を高める大きなきっかけとなっています。

図書館内で地元書店と連携した新刊販売や、文具販売を行い、「本と触れ合う体験」の提供と書店支援を行う考えを問います。

答 教育部長 図書館は「貸し出し・閲覧」が目的の施設であり、物品販売は



本と出会う喜びを演出する都市の書店

今のところ考えていません。今後も、魅力ある体験を提供できるよう、調査研究に努めます。

での通学方法になります。自転車通学は、特例を作ると校区全体や他校への波及があるため、慎重な検討が必要です。

自転車通学の緩和を

問 統廃合と少子化で、低学年児童が、長距離を孤立して歩いています。

スクールバス導入や、自転車通学許可の緩和を求めます。

答 教育部長 規定では、通学距離が片道3km以上の児童に対し補助を行います。東海小学校の立神地区と甲賀地区の児童は、おおむね3km以内であり、これま

テニスコートに学割を

問 中高生の部活動支援のため、市営テニスコートに学割制度導入の考えを問います。

答 教育部長 近隣市町においても料金設定には差があります。他市町の料金設定も参考にしながら、調査研究に努めたいと考えます。



もり 森 みつ 子 議員

聞こえは権利、補聴器購入補助を



YouTube

問 聞こえのチエックリストの効果を問います。

答 福祉事務所長 チエックをし、聞こえに支障がある時は、医療機関につながるよう活用しています。身体障害者手帳保持者の補聴器購入補助の利用件数が、チエックリストの取り組みを始めた令和5年度には、32件から42件に増加しました。

問 聞こえのチエックリストの取り組みを今後どう生かしていくかを問います。

答 福祉事務所長 聞こえの状態をチエックすることの大切さ、聞こえにくさが生活に及ぼす影響等の情報を伝え、チエックリストの内容や活用の充実を図り、周知啓発に取り組んでいきたいと考えています。

問 補聴器購入補助の制度創設を国に求めることを引

き続き市長会で声を上げること、また市独自の施策で、補助を進めることに関して考えを問います。

答 市長 国への要望は市長会を通じて行っています。単独市での実施は財政的に難しい現状があります。難聴の問題解決は、国・県の支援を得て、全国民・県民・市民が一体となって解決することが重要であると思います。

なくそう隠れ待機児童

問 待機児童・入所保留児童の現状を問います。

答 福祉事務所長 国の定義における待機児童はありません。園が遠い等で希望の施設に入れない入所保留の児童は0歳児6人、1歳児2人の計8人です。

いのちを守る信号機を

問 五知区民は「ヒヤリハット」を感じており切実です。早期の信号機設置の考えを問います。

答 市長 私も住民と一緒に県警本部へ要望に行きました。しっかりと地域として声を上げていくことが重要かと思っています。県議会議員とも連携していきたいです。



補聴器をつけて快適な暮らしを

Topic 「主権って何だろう」出前授業

令和7年11月21日に、本市議会議員3人が大王中学校を訪問し、同校3年生の社会科の授業で主権者教育の出前授業を行いました。

○大王中学校の3年生を対象に、主権者として考える力を育むことを目的とした出前授業を実施しました。授業内容は議員有志で検討し、二択ゲームによるアイスブレイクから始まり、議会の仕組みや議員の役割についての講話、班ごとに分かれてまちの課題と解決策を話し合うワークショップで構成しました。

○生徒たちは終始意欲的に参加し、話し合いの場面ではそれぞれの視点から活発に意見を出し合う様子が見られました。授業の最後に行った「将来、選挙権を持ったなら投票に行くか」という問いには、ほぼ全員の手が挙がりました。



○自分たちの暮らしや社会のあり方を自分たちで考え、決めていくこと。それが主権の第一歩です。今回の出前授業を通して、若い世代が政治や社会を身近なものとして捉え、自分の意見を持つ一助となることを期待しています。

主権者教育とは…
「国や社会の問題を自分の問題として捉え、自分で考え、判断し、行動できる人」を育てるための教育です。



→祖父と作業する優作さん(左)



ひがし ゆうさく
東 優作 さん
(カキ養殖業)

「世代を超えた志摩の恵み」

●志摩市に対してどのようなイメージを持っていますか。

志摩市はリアス海岸から織りなす絶景と、豊かな幸に恵まれた「御食国」としての歴史が息づくまちであり、伊勢志摩サミットでも注目された美しい英虞湾、そして海女漁や真珠養殖等、自然と共生する独自の文化が色濃く残っています。

穏やかな時の流れと、情熱を持って海に向き合う人々が共存しており、伝統を大切にしながらも、観光振興と一次産業を軸に新しい挑戦を続ける力強さを感じます。

●今の仕事を始めたきっかけは何ですか。

幼い頃から田畑やノリ、カキ養殖に励む祖父の背中を見て育ちました。しかし年齢とともにその規模が縮小されていく姿を目の当たりにし、「この伝統文化を絶やしたくない、自分が引き継いでいきたい」と強く思うようになりました。数あるなりわいのなかでも、祖父が最後まで情熱を注いでいたカキ養殖業を継承することを決意し、地域の宝を守り、次世代へとつなぐため、未経験ながらも、一次産業の道へ飛び込むことを決めました。

●家族との思い出の場所を教えてください。

やはり祖父と一緒に眺めた矢湾の風景や、みんなで食卓を囲んだ作業小屋です。

●家族の中で大事にしているルールを教えてください。

代々受け継いだ海や山の恵みは「当たり前ものではない」という敬意を払い、どんなに忙しくとも笑顔を忘れることなく、世代を超えた会話をしていくことです。

令和8年第1回定例会日程(予定)

2月	26-27日	本会議
3月	3-4-5日	本会議(一般質問)
	9日	総務産業常任委員会
	10日	教育厚生常任委員会
11・12・13・19・23日		予算決算常任委員会
	25日	本会議

市役所6階議場・委員会室にて午前9時から
※都合により変更になる場合があります。
※本会議はだれでも自由に傍聴でき、委員会は各委員長の許可により傍聴できます。

「しまし議会だより」はボランティア団体のご協力で、視覚障がいのある人に音訳(朗読)による広報をお届けしています。



より良い議会だよりに向けての
アンケートにご協力ください!

皆さんに読んでいただける議会だよりを目指してアンケートを実施しています。

ぜひ回答にご協力をお願いします。



スマートフォン等で左記の二次元コードを読み取るか、以下のURLよりアクセスしてください。

【URL】 <https://logoform.jp/form/c8nc/866068>

議会広報特別委員会
委員長 堀江しおん
副委員長 井上 幹夫
委員 西井 秀太
委員 濱村 昭雄
委員 中野 浩一
委員 松井 研二
委員 小河 光昭